

白馬岳主稜

5月3, 4, 5日

L:柴田(記)、K、佐藤Y

白馬大池から白馬岳を目指す世田パーティーの車に便乗して白馬を目指す。

道の駅で仮眠をとり3日7:00猿倉に着く。ここで世田パーティーを見送り、白馬尻を目指す。

白馬大池から白馬岳を目指す世田パーティーの車で往復することにした。



天気は良好。白馬岳ピークまで見えるが、主稜の全貌までは分からない。

1時間ほどで、白馬尻に到着。アイゼン、ハーネスを付け、大雪渓を横断して8峰に取りつく。



8峰下に4つのパーティーが見える。尾根が広い為、色々なところを登っている。

朝から結構な急登だ。雪も切れている所があり、そこをどうクリアしようかと、探しながらの登りだ。

8峰下まで登ると、上から人の名前を呼ぶ声がある。佐藤は何かを滑落するのを見たようだ。

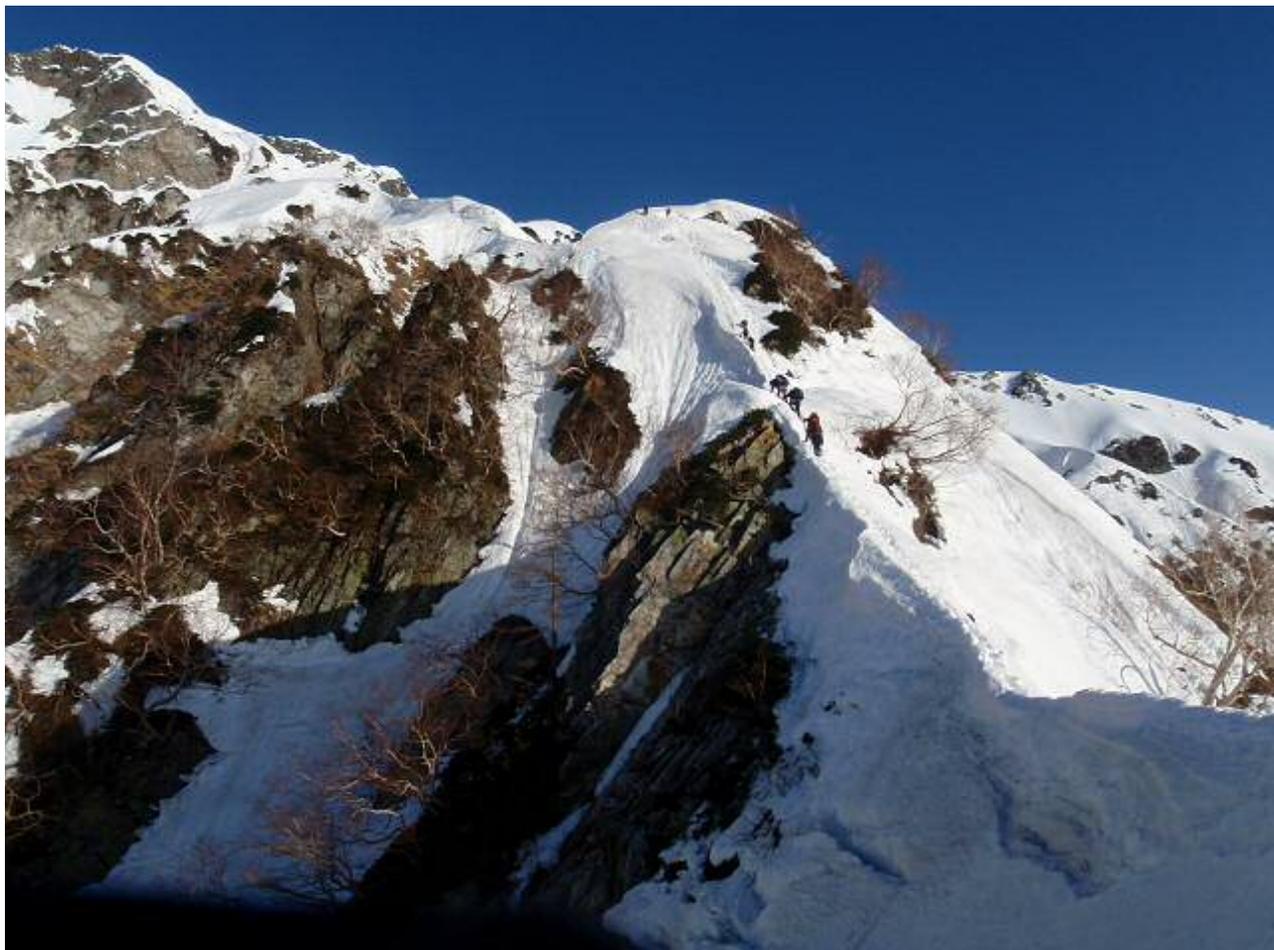
登りきると、撤退だというパーティーとすれ違う。滑落したのはこのパーティーの仲間で、大事にはならなかったが、撤退するという話だった。

出発から4時間半。たぶん6峰上だと思われるところに着く。先行するパーティーは一つ上のピークに幕営準備を始めた。

風も強くなり、ガスも出てきた。今晚はここで幕営と決め、強風の中、テントを飛ばされないように注意しながら、準備をする。

テントに入るとすぐ、雨が降り出した。濡れずに済みラッキー。強風と雨に悩まされながらの一夜となった。

2日目の朝は、天気予報通りの快晴。朝方は少し風も残っていたが、行動中はほとんど無風の気持ちの良い登攀が出来る。



出発から2時間半ほどで1峰下に着く。ここでびっくり、先行者が20名ほど、4パーティーほどおり、1時間ほど待つことになった。



1峰下の60mの雪壁をどう抜けようか、先行者の様子を見ながら相談。10Mほど登った所にバケツが掘ってある。

そこまでノーザイルで登り、残りの雪壁をザイルを出していく。柴田が先頭で、20mほど登った所に露岩に中間支点を取りピークに抜けた。

ピークでスタンディングアックスビレイ。予定通り計画通りに行動。佐藤に続いて、Kがピークに抜ける。登り始めてから40分くらいか。



空はすでに雲が出ており、稜線を抜ける風が冷たい。片付をしている間に、K・佐藤が山荘まで今夜のアルコールの買い出しに行ってくれた。



今回の山行、8峰上からは、トレースがしっかりあり、斜面にはステップもしっかり。夜の寒さで雪も締り、

良い天気に恵まれ最高の山行になった。

世田、ladyパーティーにも白馬大池で再会。食べきれないほどの夕食とつまみ。アルコールも飲み干し、楽しい夜となった。5日は朝から雪だった。



以上